

# 5Sの指導力を体得へ 足利5S学校 第11期インストラクター開講式

「足利流5Sを実践しよう」をスローガンに、5S(整理・清掃・整頓・清潔・躰)活動を推進している足利5S学校(菊地義典校長/菊地歯車(株)社長/当所副会頭)では、10月27日に足利学校方丈で、来年3月まで行われる第11期インスト

「足利流5Sを実践しよう」をスローガンに、座は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い4月の開講が延期されていたもの。式典では、同校の菊地校長が挨拶したあと、参加者全員で「足利5S学校理念」を唱和し、5S

税務署長賞に吉田智穂莉さん(自衛中三年)

講座には、市内企業が6人、市外企業から2人を受け入れた。研修生が5Sの指導力を身につけ、インストラクターとして5Sの普及に努めて行く一方で、5S実践を通じて、店舗、事務所、工場、倉庫などあらゆる職場が見違えるほどきれいになり生産性や顧客への信用力向上につながるよう期待される。

研修生以下の通り(順不同・敬称略)。増渕健彦(足利ガス(株))、須藤伸和(有さくら精機)、板橋光治(一社)産業サポート(白河)、志田智也(東京フォーミング(株))、宮田能弘(東芝マ

テリアル(株))、萩原賢一(株)、前原利充(社)  
(株)深井製作所)、鹿野福(両崖福祉会)。  
宏史(ムロオカ産業(株))  
(柏崎記)



第11期インストラクター(後列)と足利5S学校役員ら(前列)